

司
会

1/4ページ

教頭

先生「たち、戸惑っている。
先生「メイクは落とさないで
ピエロ、何も言わず、ただ満
みを見せ、車に乗り込んで走り去る。
笑



小劇場・控室
大道芸人たちが集まっ
ている大きな控室。
ピエロ、小学時代に
イタコで、壁際に
量の氏と虎をい
る。

その紙には、小学生たちからの感謝の気

大道芸人たちの笑みで読んだ場所。ピエロ、満面の笑みで読んでいる。

をピエロ、終始満面の笑みでどんだんと紙を読み進めていると、一つの紙で手を止

その紙の『ピエロさんへの質問コーナー』

「んですか？ 笑わない時はないんですか？」

「ピエロ、その紙を見て、さらなる満面の笑みを見せ、持つていたボールペンで返

スタ

進行のスタッフ、控え室にやつて来て、
ツフ「ピエロさん、準備をお願いします」
ピエロ「紙とボールペンと地面に置き、
笑顔でスタッフの元歩いて行く。
スタッフ「ピエロと一緒に出て行く。」

同・舞台、拍手をする。『ピエロの大脱出
観客たちのめくりには、
舞台にのめくりには、
シヨールと書かれてゐる。ピエロの
ピエロ、陽気な音楽と共に、大きな箱と
道具を台に乗せ、満面の笑みで登場する。
拍手は止む。°
ピエロ、台を舞台の中央に立てる。°

司会

「このショーでは、3人のお客様にお手
伝いしてほしいのですが、誰かお手伝い

司會者、手を挙げた観客から3人選ぶ。人の観客、舞台に上がつて来る。

ら、3人の観客に1本ずつ、大きな剣を渡す。

の果物を斬つて、劍の切れ味を見せる。
 ピエロ、ジェスチャーで箱に劍を刺すよ。

頭だけが出てゐる状態になり、箱は嚴

「ではお手伝いの皆さん、よろしくお

選ばれた観客の一人、ゆつくりと箱に剣を刺す。少し引つかかりはありますが、グツ

「では、さうなる笑みを見せる。」

が、なんとか箱に劍を押し込む。さらない

三
会

舞臺の上を觀客、驚いて台から離れると、

ヒエロニムス、さうなる笑みを見せる。
客たち、次々に悲鳴を上げて、
観客たち、次々に悲鳴を上げて、
スタッフ、次々に悲鳴を上げて、
ス、次々に悲鳴を上げて、
箱の

ピエロ、外し始め、笑みを見せている。

(

「ピエロが書いた返事には、
の返事『ピエロは死ぬまで笑ってる』」